

## 看護職の皆様へ

平素より看護協会活動にご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。  
さて今般のCOVID-19の感染拡大に伴い、日夜患者のために最善を尽くしていただいていることに心より感謝申し上げます。その反面、心無い人による誹謗中傷により「心が萎える」という声もいただいております。目に見えないウイルスとの闘いは差別や偏見を生み社会的感染につながっていると認識しています。こんな折、頑張っている看護師の方を応援したい！という声をいただき「黄ぶな愉快プロジェクト」につながりました。

「黄ぶな」は、その昔、宇都宮に天然痘が流行したとき、黄色い鮎を食べると病が治ったという伝説から「黄ぶな」は無病息災・健康祈願のお守りとして親しまれているものです。

この度、「黄ぶな愉快プロジェクト」の方々が、一日も早い新型コロナウイルスの終息と、看護職が元気に、この難局を乗り切れるようにという願いを込めて作成して下さいました。看護協会の職員も作成に取り組んでおります。この気持ちをお受け取りください。

**多くの県民は看護職を労い応援しています。どうぞ社会的感染に負けないように進んでまいりましょう！**

栃木県看護協会 会長 渡邊力ヨ子  
職員一同

# STOP THE 新型コロナウイルス

Nursing now

看護の力で健康な社会を！

この折り紙黄ぶなは、無病息災を祈る宇都宮の縁起物『黄鮒』を模して作ったものです。お守り厄除けとしてお持ち下さい。

公益社団法人 栃木県看護協会

看護協会の職員が心を込めて折りました。



宇都宮中央病院



とちぎメディカルセンターしもつが



自治医科大学附属病院





NHO 栃木医療センター



獨協医科大学病院



済生会宇都宮病院

